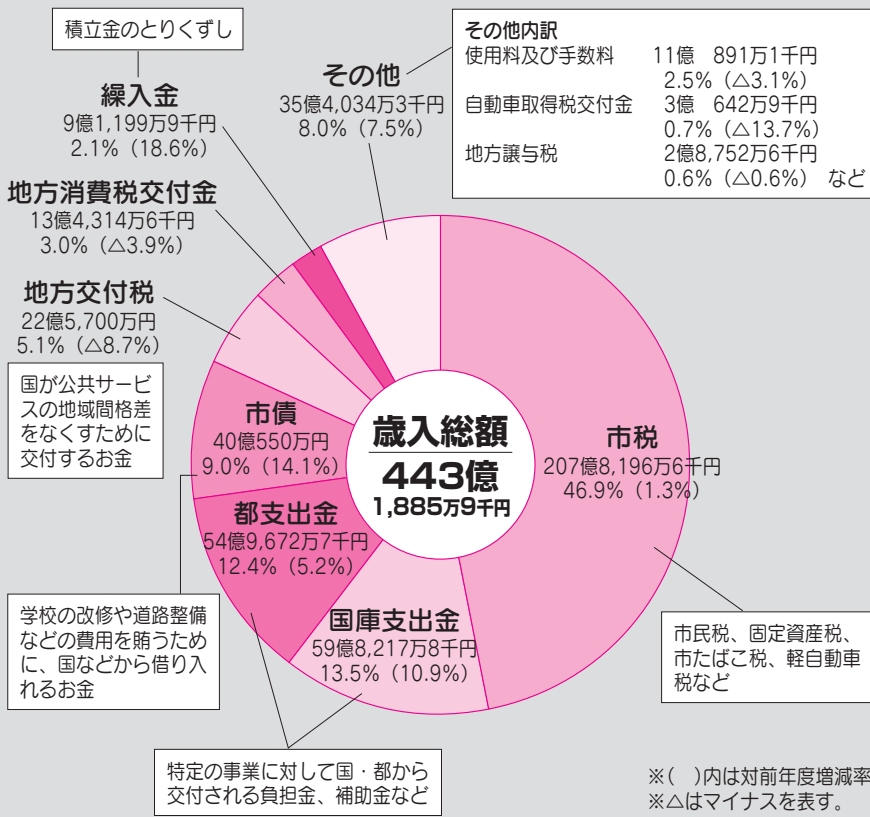


一般会計 歳入



平成20年度予算が 決まりました

歳入

歳入 18.6%の増

今後の財政運営を考慮しながら、できる限り抑制し、財政調整基金3億円、公共施設整備基金1億3千万円、ふるさと創生基金1億3千万円など各基金から繰り入れていきます。

市税 1.3%の増

市税は、法人市民税及び市たばこ税を除き、個人市民税、固定資産税、軽自動車税、都市計画税の増収を見込んでいます。

市債 14.1%の増

久米川駅北口整備事業や東村山駅西口再開発事業、(仮称)縄文体験館建設事業などの普通債の増によるものです。

都支出金 5.2%の増

生活保護費負担金、久米川駅北口整備事業や東村山駅西口再開発事業の補助金の増によるものです。

国庫支出金 10.9%の増

生活保護費負担金、久米川駅北口整備事業や東村山駅西口再開発事業の補助金の増によるものです。

地方交付税 8.7%の減

地方交付税改革の影響により引き続き減額と推計しています。

地方消費税交付金 3.9%の減

地方交付税改革の影響により引き続き減額と推計しています。

繰入金 18.6%の増

今後の財政運営を考慮しながら、できる限り抑制し、財政調整基金3億円、公共施設整備基金1億3千万円、ふるさと創生基金1億3千万円など各基金から繰り入れていきます。

歳出

歳出 6.5%の増

国民健康保険事業や後期高齢者医療の特別会計への繰入金などの増によるものです。

土木費 24.8%の増

久米川駅北口整備事業と東村山駅西口再開発事業の増によるものです。

教育費 5.1%の減

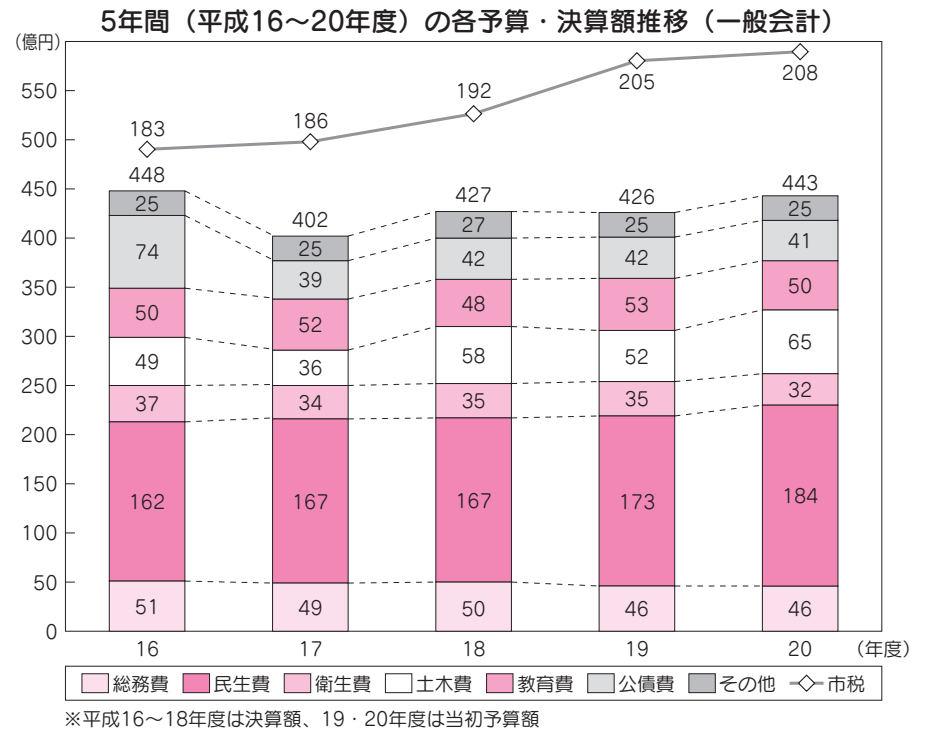
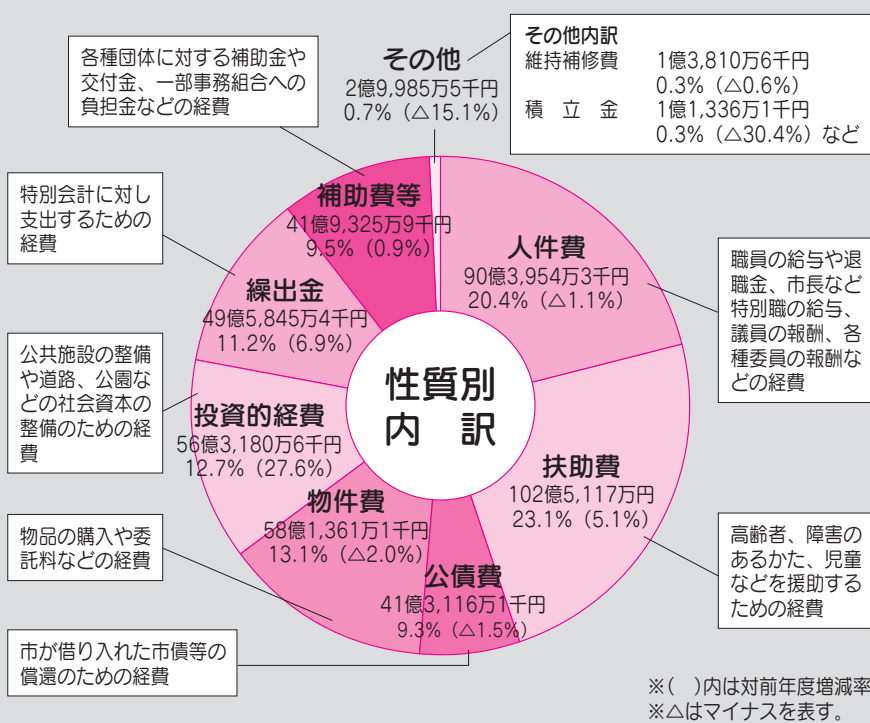
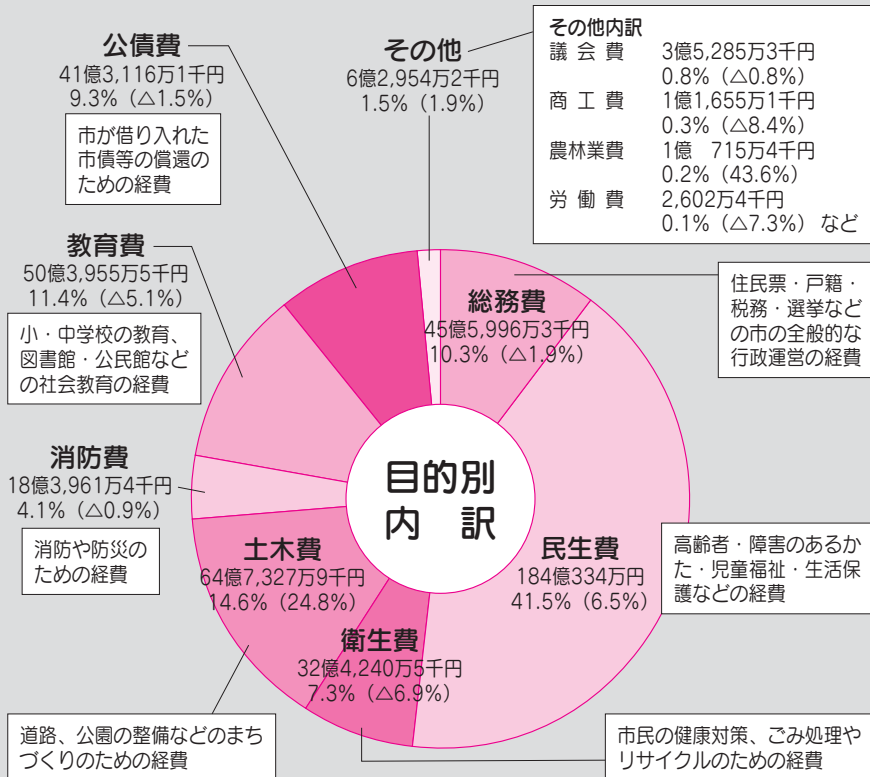
前年度に行われた野火止小学校増築工事や久米川東小学校の運動場芝生化工事などがなくなったことに伴う減ですが、八坂小・第一中学校の耐震補強工事、(仮称)縄文体験館建設事業、図書館システムの更新などを予定しています。

公債費 1.5%の減

市が借り入れた市債等の元金や利子を返済するための経費ですが、前年度より約6千200万円減っています。

一般会計 歳出

歳出総額 443億 1,885万9千円



特定目的基金(決められた目的のための市の貯金)

基金名	20年度末見込額	目的
財政調整基金	3億7,689万円	安定的な財政運営のために
減債基金	1,820万円	市債(市の借金)を減らすために
公共施設整備基金	3億9,826万円	公共施設の整備のために
職員退職手当基金	2億7,197万円	退職手当のために
西武園競輪場周辺対策整備基金	7,750万円	周辺対策の施設の建設や運営のために
緑地保全基金	5億3,691万円	緑地の保全のために
ふるさと創生基金	2,731万円	地域社会の振興と市民のふるさと創生のために
長寿社会対策基金	5,780万円	高齢社会に対応するために
国際交流及び姉妹都市交流基金	2億1,391万円	国際交流及び姉妹都市との交流の推進のために
アメニティ基金	3億7,183万円	資源循環型まちづくりのために
秋水園周辺対策施設整備基金	6万円	周辺対策の施設の建設などのために
計	23億5,064万円	